

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月11日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200275
法人名	株式会社ケイシン
事業所名	グループホーム こくぶ太陽の家
所在地	鹿児島県霧島市国分中央1丁目24-24 (電話) 0995-48-7320
自己評価作成日	令和2年2月22日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NP0さつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年3月9日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居様が安心・安全に暮らせる環境作りに努めています。
- ・入居様の御家族の不安や負担を少しでも軽減出来るように努め、双方のより良い信頼関係作りの橋渡しになれるよう支援しています。
- ・介護相談所として地域や近隣の方々とのより良い友好関係を築き、地域活動への積極的な参加に努めています。
- ・ライフサポートワーカーとして、自施設のみならず霧島市全体の介護事業発展への協力や支援に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの隣には系列法人の保育所があり、園児との交流は頻繁に行われている。地域との連携は非常に深く、自治会に加入して総会に参加し、「まちかど介護相談所」として地域の方々の相談へ対応、また、「こども110番の家」にも登録している。サマーボランティアや中学生の職場体験学習の受入れ、地域の方々の野菜の差し入れ等での来訪も多く利用者はこれらの機会を楽しみにしている。

利用者が家庭的な雰囲気の中でいかに気持ちよく安心して過ごせるか、そして出来る限り自立して暮らせるかに管理者及び職員の関心が払われ、家族の思いにも配慮しながら、それらの実現への意見交換と情報共有に重点が置かれ、利用者の意欲を引き出しながら日々サービス向上に向けた取り組みが実践されている。

管理者は職員に対して、声かけも工夫しながら日常的に話しやすい雰囲気作りに努め、日頃から職員の個別の相談にも対応しながら密にコミュニケーションを図っている。職員同士の連携も良好で日々の申し送りや毎月のミーティングでもケアに関する話し合いは活発で、これらを検討して利用者の気持ちに十分配慮しながら、業務やサービス内容の改善、職員育成に具体的につなげている。

食事が楽しみになることにも気を配り、好みの把握に努めて調理方法や盛り付け、季節の行事食や手作りおやつ等に日々工夫している。また、隣接の保育園児とのふれあいのほか、遠方への外出は難しいものの、日常的に散歩や外気浴、買い物などには可能な限りひんぱんに出かけて楽しんでもらっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念、各施設毎の理念を掲げ、職員一同が思いを一つに介護に向かう努力をしている。	法人の理念及びホームの理念に沿って、地域や家族とふれあいながら、利用者が自宅で暮らしているような安心、安全な環境で楽しく過ごせるように日々のケアに取り組んでいる。玄関や事務所に掲示して日々の申し送りで唱和、また、日々のケアの中で振り返り理念の共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し、役員会への参加や回覧の請負、介護相談の授受等地域の方々との関わりを積極的に行っている。	自治会に加入して総会に参加している。近所の方より野菜の差し入れもあり、日常的に地域の方と挨拶や会話を交わしている。保育園児との交流、サマーボランティアや中学生の職場体験学習受入れのほか、「まちかど介護相談所」では地域の方々の相談へ対応、また、「こども110番の家」にも登録して、積極的に地域と関わっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	GH連合会へ加入し介護相談所として近隣だけでなく、イベントへの積極的な参加を通して市全体の福祉事業の発展に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月で近況報告や1月には検食会を行い、3月と7月には家族会も合同で行う事で現状での家族の思いにも触れて頂く機会を設けている。	会議は毎回テーマも設定して意見交換し、家族や民生委員・市の職員等が参加して定期的に開催されている。会議に合わせて家族会や検食を行うこともあり、ホームや利用者の現況、行事や事故、外部評価等の報告及び問題点、また、家族の思い等に関する話し合いが行われ、得られた意見や提案・助言をサービス向上や業務の改善に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や家族会等には担当者に必ず参加頂いている。連合会を通して、市主催の行事への協力支援も積極的に行っている	市担当者には毎回の運営推進会議でホームの現況も理解してもらい、意見や提案をもらっている。また、電話や訪問で利用者の暮らしぶりやニーズに関すること、各種の手続き上の相談ごとに助言・対応してもらっている。ライフサポートワーカーとして市主催の行事に参加し、案内される研修会等にも出席している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月のミーティング内で身体拘束委員会を実施拘束の有無を確認。安全を考慮しつつ、動きに不自由のない環境を話し合い、ケアするよう努めている。	関連するマニュアルは整備され、身体拘束委員会も同時に行う毎月のミーティングの際に、「身体拘束禁止の管理表」による日々のケアの振り返りとともに、特に言葉による行動制限などの具体的な事例について話し合い、職員の理解を深め日々のケアへの反映を図っている。職員の見守りのもと、玄関や居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援に努め、近隣の方々には見守りや声かけをしてもらえるような関係づくりに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待は勿論の事、心理的な虐待にも注意し、言動や行動に問題が無いかを職員同士が注意し合える関係づくりに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人の方々との連絡は密に行い、必要と感じた場合は関係者へ手続きの検討を促す等、支援や連絡を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は1項目ずつ読み上げ、不安や疑問点が無いかを確認しながら説明を行っている。内容に改定のあった場合、手紙にて送付し同意の署名・捺印を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	遠方の方でも毎月の手紙にて現状の報告を行い、体調の変化や受診状況等で変更があった場合は、事前事後で電話での連絡や確認を行っている。	管理者および職員は、利用者や家族とのコミュニケーションを大切に考えて日々支援に取り組んでいる。利用者とは入浴時も含めた日々のケアの中での会話やしぐさ・表情から思いや意見の把握に努め、家族とは電話や来所時、家族会の際に意見や要望を出しやすい雰囲気を作り多くの意見をもらっている。申し送りや毎月のミーティング等で全職員が内容を共有し、必要な対応や報告が速やかにできるようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常業務内で変更可能なものに関してはミーティングや管理者会議で議題に挙げ出来る限り迅速な対応に努めている。	管理者は、申し送りや毎月のミーティングのほか、日常職員と接する中で意見や提案を把握できるように努め、必要な場合には個別の相談にも対応している。ケアに関する意見交換は活発であり、利用者へのサービス向上や業務改善、職員の育成・資格取得の推進、働きやすい職場環境づくりなどにつなげるように取り組んでいる	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の生活にも配慮した勤務体制整備に努めている。勤続年数やキャリアパス制度を登用し、年数の長い職員の意欲向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>希望する研修への参加は積極的に募り、時間の確保に職場全体でフォロー出来る体制作りにも努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連合会レクリエーションや市主催の行事等への参加を積極的に促している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に関係者様から出来る限りの情報を引き出し、御本人の戸惑いや不安を一早く軽減出来るよう声掛けや目配り気配りを常に意識して行動している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族様へも入居前に不安や疑問がないか、管理者とケアマネで数回聞き取りを行い、話し易い関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前の御本人や御家族様への聞き取りや、関係機関からの情報を職員間で事前に共有し、希望のサービスについて常に話し合える環境作りに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>御本人の思いを大切にしながら、皆と一緒に日常生活を楽しめるよう、出来る事やしたい事の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	遠方へは毎月の手紙や電話連絡にて近況の報告を行い、付近に在住の方は受診や消耗品の買い物、外食へ連れ出す等、月1回は面会の機会を提案している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族や御友人が見えた際には、他の方への周知も行って頂けるよう声掛けを行い、常時面会可能な環境整備に努めている。	入所時には生活歴や暮らしぶり、趣味などを聞き取り、暮らしの中で本人が希望する地域の初市などのほか、買い物や墓参り、一緒にできる家事などを家族とも調整して支援している。家族及び友人・知人の訪問時にはゆったりと過ごせるように配慮している。また、電話や手紙の取り次ぎ、日々のレクリエーションなども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	参加が困難な状態以外では、レクリエーションは出来る限り同じ場所・時間で行うよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用開始時の情報を保存し、常に情報提供出来る状態にしている。必要に応じていつでも相談や支援出来る体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の会話や表情、反応などから思いを汲み取り変化がないかチェックしている。各人担当者を設けより細かい部分での変化にも注意している。	利用者の思いや希望は、家族からの情報のほか、日々のケアや入浴時の対話から、何気ない言葉や素振りにも気配りしながら把握に努め、申し送りやミーティング等で対応について意見を交換している。加えて家族とも話し合いながら具体的に本人の希望に添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人様との会話や、御家族・御友人からの情報を基に、現在の状況における思いや希望の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人経過表や申し送りでの現状把握、ミーティングで各人の課題や注意点等を話し合い職員の情報共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当者、御家族様それぞれの要望をミーティングで話し合い、必要ならカンファレンスを行いながら個々の意見をケアプランへと反映させている。	利用者の思いは、本人が話しやすいタイミングで聞き取るようにし、家族の意向や希望、主治医や看護師などの関係者からの情報も参考に、職員それぞれの意見を出して十分に話し合い、きめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。介護支援記録表や個人経過表には日々の本人状況や言葉、支援の経過などを区分けして具体的に記述し、内容は申し送り等で共有している。モニタリングも定期的に行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人経過表に言動や行動、変化など日中の記録を御家族が見ても分かり易いように記入するよう努めている。申し送り等で情報共有しながら今後の介護計画に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	聞かれた要望に応えるサービスを行う為、関係各所への連絡は出来る限りその場で行い、問題解決や支援に努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月の運動推進委員の方の参加や、飛び込みでのボランティア参加も常時受け入れを行い、外部の方との関係を断ち切らないよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々にかかりつけ医があり、遠方の方以外には御家族に同行をお願いしている。急な発熱等は近医、皮膚は往診等各所に協力を依頼している。	一人ひとりの利用前の受診状況は十分把握し、本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を、家族とも協力しながら職員で支援している。歯科及び皮膚科は訪問診療であり、利用者それぞれのかかりつけ医との話し合いや情報交換も十分になされ、家族との連携も図られている。ホームの看護師を中心に日々の健康管理に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員は入居者様の状態変化や異常に気付けるよう常に声かけを行い、入浴時には皮膚状態のチェックを行っている。異常があれば看護師や管理者へ連絡し判断を仰ぐ体制が出来ている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時にはサマリーを用い情報交換を行っている。入院中も職員が面会に行き、入院中の状況の把握にも努めている。各医療機関の相談員との連絡も密に行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合には御家族への説明と急変時の対応について相談し、出来る限り希望に沿えるよう支援を行う体制作りを整えている。終末期においても、主治医の指示のもと、職員全員が支援出来るよう情報共有に努めている。	重度化や終末期のケアについては、契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」で利用者と家族に十分に説明を行い同意を得ている。その後も本人や家族の思いの変化があった場合や利用者の状況に応じて、職員やかかりつけ医、看護師、家族と十分な話し合い、病院への移動も含めて、ホームとして適切な支援が提供できるように体制を築いている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	消防訓練や救急救命の勉強会を定期的に行い、発生時に必要な知識の習得に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の消防署立合いの訓練と、防火点検業者による設備点検の実施。運営推進会議や自治会で日頃の協力を仰いでいる。</p>	<p>年2回消防署の協力を得ながら、夜間想定も含めた消火訓練及び通報・避難訓練を行っている。また、年に数回は自主訓練も実施して職員の意識向上を図っている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置や業者による定期点検、食料・飲料水の備蓄も問題はなく、地域住民には緊急時対応のお願いもしており、隣接する保育所との合同訓練も検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様のその時々感情や表情へ配慮しながら、一方的な声掛けにならないよう職員同士で注意している。	利用者の人格を尊重し、日常のケアに際して尊厳やプライドに配慮して、利用者その時々状況に合わせたわかりやすい言葉遣いやさり気なく意欲を引き出せるような対応を心掛けるなど、ミーティング等を通じて方法を共有して支援に取り組んでいる。利用者の個人情報記録や居室の保護にも十分に配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の負担にならない範囲内で、出来る事を見つけ実践頂く。出来る限り御本人の言葉を引き出せるよう、声掛けも工夫するよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御本人の得意や好きな事は積極的に実践頂き、苦手だが必要な事は御本人の気分や状態に配慮しながら可能な限り行えるよう支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	御本人の希望も取り入れつつ、同じ色や模様が続かないように声掛けにて気分を害さない程度に誘導している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物を窺い取り入れながら、和食だけに拘らずに季節やイベントを踏まえた目でも楽しめる食事やお菓子の提供に努めている。	差し入れの野菜も活用し、利用者の好みも献立に反映させ、食べやすいようにとろみやきざみ食等の工夫も行っている。野菜の下ごしらえや食卓の後片づけ等利用者のできることも一緒に行っている。おせち料理等の季節の行事食、忘年会や誕生日等の特別食、また、おやつなども目で見て楽しめるような工夫もして提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量をチェックしており、その方の好みや気分に沿って、食事の形態を変えて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアのチェックを行い、毎月の歯科往診にて義歯のチェックも行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄のパターンを把握し、定期的な声掛け誘導を行っている。	利用者の見守りや排泄チェック表を活用して個々のパターンを把握し、早めにさり気なくトイレに誘導するなど羞恥心・不安軽減に努めている。リハビリパンツや布パンツなどの介護用品の選択を含めて個々に合わせた工夫をプランに組み込み、職員は連携して言葉使いをはじめ本人の誇りやプライバシーを損ねないように丁寧な対応に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師指導の元、申し送りでも毎日の排泄をチェックしなるべく自力での排便コントロールを下剤や乳製品にて図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	御本人の気分や皮膚の状態なども考慮し、順番は毎回変えている。当日困難な場合でも翌日に回し、出来るだけ清潔が保てるよう引継ぎを行っている。	利用者の体調に配慮し、シャワー浴や清拭への変更も含めて入浴をゆったりと安心して楽しめるように支援している。入浴したい時間帯や湯温など本人の好みや習慣も把握に努めている。また、清潔の維持には特に気を付けており、入浴後の皮膚観察や保湿剤の使用なども個々に合わせた対応を心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	定期的な体位交換や、声掛けにて同じ姿勢が続かないよう配慮している。逆転傾向の方は内服・入床を遅らせ深夜帯の良眠を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に処方内容をファイリングし、職員が常時確認出来るようにしている。頓服や変更等は申し送りや日誌にて注意喚起促している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事への参加や、一人一人の状態に合わせたお手伝い、レクを日々考え実践している。達成時にはプレゼントや賞状でより意欲を引き出せるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	御家族へのお願いや、管理業務日に外出し買い物等支援している。外出困難な方も外気浴や近隣の散歩等で、日照時間を増やすよう努めている。	隣接してグループの保育所があり頻繁にふれあいの機会があって利用者の楽しみになっている。利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って日常的に散歩や買い物、外気浴などに出かけている。また、全員がそろっての外出は難しいが、季節の花見や初詣、みかん狩り、初市などの地域の催しなどに可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援を行っている。家族の協力による墓参りや外食等も積極的に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>御家族よりある程度お預かりし、ホームにて管理している。御本人の訴えがあれば、御家族にも相談の上、購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>御本人の要望があれば、いつでも自由に連絡が取れるよう説明している。家族への連絡の際にも実際に替わって直接お話頂く機会も設けている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂の座席はトラブルになりにくい配置を考慮している。テレビへの導線や外の景色等出来る限り疎外しないように配置換えも固定せずに行っている。施設内の飾りつけは月ごとの行事に合わせて変化させている。</p>	<p>玄関からリビングにかけてのスペースは広く明るく開放的で、テレビの周囲には大きめのソファも配置されて利用者がゆっくりとくつろげるよう配慮されている。季節を感じられるように、毎月変更される手作りの作品や高校生の描いた絵などが飾られている。また、清潔感や空調には細かい配慮が感じられ、利用者にとって不快に感じる音や匂いもない。ミニボウリングやゲームをはじめ、パズルや積み木、ぬり絵など様々なレクリエーションも行われている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間内に出来る限り私物を置かないように心がけ、いつでもあなたが使ってもトラブルが起きない空間作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安全に考慮しつつ、好きな物や家で使っていた物を持参頂くようお願いしている。置く際には御本人にも確認を頂いている。</p>	<p>日常を落ち着いて居心地よく過ごせるように、使い慣れた身の回りの小物や時計・写真・カレンダー・手作りの作品などを持ち込んでもらい、家族とも協力しながら環境づくりを工夫している。居室は明るく、ホームからは洗面台・ベッド・タンス・エアコンが設置されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>機能を損なわない程度に自立した動きが出来る配置を心掛け、物を置き過ぎないように職員に整理整頓を周知徹底している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない